

PRESS RELEASE

ギャラリー小柳 展覧会のご案内

束芋

flow-er arrangement

2018.2.10 (土) – 3.15 (木)



報道関係者各位

平素よりお世話になっております。

この度ギャラリー小柳では、2018年2月10日(土)から3月15日(木)の会期にて東芋の個展「*flow-wer arrangement*」を開催致します。本展では、東芋が2013年から描き続けている人体の一部に草花を生ける*flow-wer*シリーズのドローイング近作に加え、ウォールドローイングにプロジェクションを掛け合わせた《*flow-wer arrangement*》を展示します。《*flow-wer arrangement*》は「Hammer Projects: Tabaimo」として、2017年にハマー美術館(ロサンゼルス)で発表され話題を呼びました。本作は、ハマー美術館での発表以降、本展のため初めて再制作されます。

“4年に渡って描き続けてきた*flow-wer*は、今回の発表が最後。

多くの個性を焼き付けている表面の皮をはいだときに現れる内臓。内臓を描いたとき、その個性をも描くことはほとんどできない。けれど、そこに生けられる花によって、それぞれの部位を所有する個人の性格や人生を想像させられるような内臓を描きたかったのだと思う。

今、自分がこの身体の中にある内臓には、どんな花を生けようか。”

東芋

近年、ダンサー・森下真樹と作り上げた映像芝居「錆からでた実」(2013年、2014年、2016年)や、現代美術家・杉本博司が手掛けた人形浄瑠璃文楽「曾根崎心中」への映像作品提供(2014年)、シアトル・アジア美術館(シアトル)の所蔵作品をキュレーションし自身のビデオインスタレーション作品を展開した「うつしうつし」展(2016年)など、国内外で挑戦的かつ精力的な活動を見せる東芋。彼女の表現の根幹を成す、ドローイングによる作品群を是非会場でご高覧下さい。

展覧会の初日、2月10日(土)は、午後6時から作家在廊によるオープニング・レセプションを開催いたします。

また、Gallery KIDO Press(アーツ千代田 3331)では、東芋が満を持して取り組んだ銅版画作品の展覧会「ズンテントンチンシャン」が2月9日(金)より開催されます。こちらもあわせてお運び頂ければ幸いです。

資料および図版のご依頼は担当者までご連絡ください。

ご掲載の際にはご一報いただけますよう宜しくお願い申し上げます。

ギャラリー小柳

【広報用図版】



キャプション：

(日本語表記)

束芋

flow-wei 026

2015 年

和紙に墨、蜜蝋（クレヨン）、色鉛筆、鉛筆

(英語表記)

Tabaimo

flow-wei 026

2015

ink, beeswax crayon, color pencil and pencil on Japanese paper

クレジットライン：

© Tabaimo / Courtesy of Gallery Koyanagi

【作家略歴】

束芋（たばいも）

現代美術作家

1975年生まれ。1999年京都造形芸術大学卒業制作としてアニメーションを用いたインスタレーション作品「につぼんの台所」を発表、同作品で麒麟・コンテンポラリー・アワード最優秀作品賞受賞。以後2001年第1回横浜トリエンナーレを皮切りに、2011年には第54回ヴェネチア・ビエンナーレ日本館代表作家に選出される等、数々の国際展に出品、注目を集める。主な個展に「ヨロヨロン」(2006／原美術館、東京)、「TABAIMO」(2007／カルティエ現代美術財団、パリ)、「断面の世代」(2009／横浜美術館、2010／国立国際美術館、大阪)、「MEKURUMEKU」(2014／MCAオーストラリア、シドニー)、「Utsutsushi Utsushi」(2016／シアトル・アジア美術館、シアトル)、「Her Room」(2016／サンノゼ現代美術館 / サンノゼ、アメリカ)、「Hammer Projects: Tabaimo」(2017／ハマー美術館、ロサンゼルス)など。近年は舞台でのコラボレーションも展開、2012年浜離宮朝日ホール20周年記念コンサートでパスカル・ロジェと映像と音楽のコラボレーション、2013年に初演、2014年と2016年に再演した、ダンサー・森下真樹と共同演出の映像芝居『錆からでた実』、2014年に杉本博司脚本・演出の人形浄瑠璃『曾根崎心中』へのアニメーション参画など多岐に亘る。長野県在住。

【展覧会概要】

作家名：束芋

展覧会名：flow-wer arrangement

会期：2018年2月10日（土）～3月15日（木）

[オープニング・レセプション 2月10日（土）18:00～20:00 作家来廊]

開廊時間：11:00～19:00

休廊日：日・月・祝祭日

会場：ギャラリー小柳

東京都中央区銀座 1-7-5 小柳ビル 9F

Tel: 03-3561-1896 Fax: 03-3563-3236

交通：東京メトロ有楽町線 銀座一丁目駅 7番出口より徒歩1分

丸ノ内線・銀座線・日比谷線 銀座駅 A-9 出口より徒歩5分

URL：http://www.gallerykoyanagi.com

お問い合わせ／写真請求先：ギャラリー小柳（担）善名／笠松

電話 03-3561-1896 | メールアドレス mail@gallerykoyanagi.com

束芋

- 1975 兵庫県生まれ
 1999 キリンコンテンポラリーアワード'99 最優秀作品賞受賞
 2001 平成12年度咲くやこの花賞（美術部門）受賞
 2002 第13回五島記念文化賞美術新人賞受賞
 現在、長野在住

主な個展

- 2018 「*flow-wei arrangement*」 ギャラリー小柳 / 東京
 「ズンテントンチンシャン」 ギャラリーキッドプレス、アーツ千代田 3331 / 東京
 「Clue to Utsushi」 James Cohan Gallery / ニューヨーク、アメリカ
 2017 「Hammer Projects: Tabaimo」 ハマー美術館 / ロサンゼルス、アメリカ
 2016 「Tabaimo: Utsutsushi Utsushi」 シアトル・アジア美術館 / シアトル、アメリカ
 「Tabaimo: Her Room」 サンノゼ現代美術館 / サンノゼ、アメリカ
 2015 「息花」 ギャラリー小柳 / 東京
 「Tabaimo: aitaiei-josei」 アルル・ヴィンセント・ヴァン・ゴッホ財団美術館 / アルル、フランス
 2014 「Tabaimo: MEKURUMEKU」 オーストラリア現代美術館 / シドニー、オーストラリア
 2011 「Tabaimo: *DANDAN*」 James Cohan Gallery / ニューヨーク、アメリカ
 「束芋：てれこスープ」 第54回 ヴェネチア・ビエンナーレ 日本館 / ヴェネチア、イタリア
 2010 「ててて」 ギャラリー小柳 / 東京
 「Tabaimo: *Boundary Layer*」 パラソル・ユニット / ロンドン、イギリス
 「Tabaimo: emerge as」 シンガポール・タイラー・プリント・インスティテュート / シンガポール
 2009 「断面の世代」 横浜美術館 / 横浜（2010年に国立国際美術館、大阪に巡回）
 「TABAIMO」 スtockホルム現代美術館 / スtockホルム
 2008 「ハウス」 ギャラリー小柳 / 東京
 「TABAIMO」 James Cohan Gallery / ニューヨーク、アメリカ
 2006 「TABAIMO」 カルティエ現代美術財団 / パリ、フランス
 「ヨロヨロン 束芋」 原美術館 / 東京
 2005 「指弁」 ギャラリー小柳 / 東京
 「TABAIMO」 James Cohan Gallery / ニューヨーク、アメリカ
 2003 「にっぽんのちっちゃい台所」 ギャラリー小柳 / 東京
 「束芋：夢見え」 ハラミュージアムアーク / 群馬
 「束芋展：おどろおどろ」 東京オペラシティアートギャラリー / 東京

主なグループ展

- 2012 「THE BEAUTY OF THE MOMENT」 リートベルク美術館 / スイス
 「The Collectors Show: Chimera」 シンガポール美術館 / シンガポール
 2010 「Philagrafika 2010: THE GRAPHIC UNCONSCIOUS」 フィラデルフィア、アメリカ
 「Great New Wave; Contemporary Art from Japan」 Art Gallery of Hamilton / ハミルトン、カナダ
 「MANGA」 ルイジアナ美術館 / デンマーク
 2007 「GOTH」 横浜美術館 / 神奈川
 2007 「Momentary Momentum: Animated Drawings」 パラソルユニット / ロンドン、イギリス
 「Geopolitics of the Animation」 Centro Andaluz de Arte Contemporáneo (CACC) / セビーリャ、スペイン
 「第52回ヴェネツィア・ビエンナーレ」 イタリア館、/ ヴェネツィア、イタリア
 「Out of the Ordinary: New Video from Japan」、ロサンゼルス現代美術館 / カリフォルニア、アメリカ
 2006 「第15回シドニー・ビエンナーレ Zones of Contact」、シドニー、オーストラリア
 「ARS 06 Sense of the Real」 KIASMA フィンランド国立現代美術館、ヘルシンキ、フィンランド
 2005 「Rising Sun, Melting Moon : Contemporary Art in Japan」 Israel Museum、エルサレム、イスラエル
 「FUSION. Aspects of Asian Culture in the MUSAC Collection」 Museo de Arte Contemporáneo de Castilla y León、レオン、スペイン

- 2004 「Fairy Tales Forever」 AROS Aarhus Kunstmuseum、オーフス、デンマーク
 「Passage to the Future: Young Japanese Artists from the Japan Foundation Collection」 ローマ日本文化会館、ローマ、イタリアほか巡回（企画：国際交流基金）
 「D-Segni」 Fondazione Sandretto Re Rebaudengo、トリノ、イタリア
 「Living Together is Easy」 水戸芸術館現代美術ギャラリー、茨城／ヴィクトリア州立美術館、メルボルン、オーストラリア
- 2003 「How Latitudes Become Forms」 ウォーカー・アート・センター、ミネアポリス、アメリカほか巡回
- 2002 「第 25 回サンパウロ・ビエンナーレ」、サンパウロ、ブラジル
- 2001 「横浜トリエンナーレ 2001ーメガ・ウェイブ 新たな統合に向けて」 横浜、神奈川

主なパブリック・コレクション

国立国際美術館、大阪
 兵庫県立美術館、兵庫
 原美術館、東京・群馬
 国際交流基金、東京
 高松市美術館、香川
 スtockホルム現代美術館、スウェーデン
 ゴヴェット ブリュースター アート ギャラリー、ニューブリムス、ニュージーランド
 MUSAC カスティージャ イ レオン現代美術館、レオン、スペイン
 イスラエル美術館、エルサレム、イスラエル
 カルティエ現代美術財団、パリ、フランス
 パーミニングム美術館、アラバマ、アメリカ
 フォートワース現代美術館、テキサス、アメリカ
 ロサンジェルス現代美術館、カリフォルニア、アメリカ
 ニューヨーク近代美術館、ニューヨーク、アメリカ
 他

その他の活動

- 2015 （舞台構成・演出）映像芝居「錆からでた実」、東京芸術劇場、東京
- 2014 （舞台）「錆からでた実」（第二弾）、春秋座、京都
- 2013 （舞台）「錆からでた実」（第一弾）、青山円形劇場、東京
 （舞台へのアニメーション参画）人形浄瑠璃、杉本文楽「曾根崎心中」ヨーロッパ公演
- 2012 （装画）ヒカシュー、アルバム『うらごえ』ジャケット
- 2009 （装画）戌井昭人、『まずいスープ』、新潮社
- 2008 （コラム連載）『随想』、神戸新聞、（2008 年 9 月—12 月）
- 2007 （コラム連載）『をちこち散歩』、国際交流基金
- 2007 （装画）春日武彦、『無意味なもの和不気味なもの』、文藝春秋
- 2006 （アニメーション映画）アニメーション映画誕生 100 年記念 オムニバス・アニメーション『Tokyo Loop』
 参加（「公衆女」）、製作・配給：イメージフォーラム
 （舞台美術）Batsheva Dance Company 「FURO」、Judiska Teatern、ストックホルム、スウェーデン
 （挿画）新聞連載小説『悪人』吉田修一著、朝日新聞社（3 月 24 日 - 2007 年 1 月 29 日）
 （コラム）《アート様様》連載、『Domani』、小学館（4 月号 - 12 月号）
- 2005 （装丁・挿画・ブックデザイン）グリム兄弟著、矢崎源九郎訳『カエルの王さま または鉄のハインリッヒ』、新風舎／ワコールアートセンター
- 2003 （表紙絵連載）『群像』、講談社、（1 月号 - 12 月号）
 （コラム）《潮音風声》連載、『読売新聞』（夕刊文化面）、読売新聞大阪本社（1 月-10 月）